



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡教区
編集人 山元 眞
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 1部70円

12月の意向

【教皇の意向】非営利団体の
ボランティア
【日本の教会】苦難の中にある
子どもたち

「幼子は成長し、たくましくなり」(ルカ2:40)

宣教・養成委員会 委員長
レナト・フィリッピーニ神父 (聖ザベリオ宣教会)

宣教・養成委員会の委員長であり、信徒養成担当のレナト・フィリッピーニ神父は、降誕祭を迎えるにあたり、幼子イエスの成長に合わせるように信仰者も共に成長するようお願い、信仰者の成長と成熟を促す「信仰養成と育成」について語る。そして、「信仰養成は継続的なものであり、成熟した信仰を目指して一生かけて育てていきましょう」と呼びかけている。



画：MINO CEREZO 神父

12月24日、荘厳な夜の典礼でイエスの誕生が祝われます。その夜に生まれる幼子は、キリスト者と共に成長するように願っています。

過去数十年の間、多くの教会共同体では「秘跡向け」の司牧が中心でした。主日のミサや初聖体と堅信、またそれらの準備を優先した司牧のことです。しかも、その対象は多くが幼児と青少年です。その結果、成長して社会に出た後も信仰は幼いままで。ランドセルを背負ったまま出勤している大人と言っても過言ではありません。そのため、信仰への自信を失い、家族や友人に打ち明けられることもなく、人生の片隅に信仰を追いやってしまうことも珍しくありません。

「公教要理」、つまり「カテキズム」はよく耳にする言葉ですが、「カテキジス」はどのような意味か。「カテキジスは「信仰養成と育成」を意味し、信仰者の人生の段階に合わせた成長と成熟を促し、共に歩む過程です。その目的は、キリスト教的な生活の能力を育てることにあります。私たちは社会人として、それぞれの環境から常に刺激を受けています。様々な環境の中で暮らし、多くの出会いによって福音の価値観の実践が問われているのです。「困難」「不可能」といった甘くない世の中に置かれており、本来なら疑問を持つて対処すべきところ、そもそもそれらに気づくことなく対応できないことが多くあります。信仰と生活の溝は深くなるばかりです。しかし、私たちが置かれている現実こそ、福音の価値観を実践し、証しする場所なのです。「福音と生活」「日常と信仰」といった組み合わせを統合し、さらに融合する真

2022年度 (73回) 福岡市民クリスマス
日時：12月12日(月) 開場 18:00 開演 18:30
場所：福岡市民会館 大ホール (福岡市中央区天神 5-1-23)
【プログラム】
第1部 コンサート
バイオリンとピアノ
第2部 メッセージ
ヨゼフ・アベイヤ司教
第3部 コンサート
クワイアチャイム
※詳細は右記 QR コードよりご確認ください。

2022年12月4日 宣教地召命促進の日・献金
キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた使命であり、神からの呼びかけにこたえること(召命)です。すべての信徒がその使命を果たせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈りましょう。当日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭養成のための援助金として送られます。

今回は3年ぶりの通常開催を計画し、主なプログラムに開式ミサ、各種企画、講演会を準備しました。皆さまの協力により無事実行できたことに心より御礼申し上げます。そして当日、中村倫明大司

カトリック神学院にて、恒例の神学院祭が行われました。神学院祭とは、皆さまの出会い・再会の場であり、神学生が皆さまに感謝を伝える場です。今年のテーマは、「わたしたちの歩みを平和に導く」でした。

2022 神学院祭 わたしたちの歩みを平和に導く

11月3日(木・祝)、福岡カトリック神学院にて、恒例の神学院祭が行われました。神学院祭とは、皆さまの出会い・再会の場であり、神学生が皆さまに感謝を伝える場です。今年のテーマは、「わたしたちの歩みを平和に導く」でした。

各企画では、子どもが参加できるものも多数あり、院内のいたるところで元気な声が聞こえてきたことが印象的でした。なかでも、綱引きでは小さな子どもから、大人までの性別や年齢を超えた参加があり



子どもも大人もみんなで綱引き

一本の綱を大きな声を出しながら引き合っていました。皆さまの元気な顔、笑顔の花が神学院では満開でした。講演会では、森山司教様にお話して頂きました。「私はコロナのせいでは何ができないか」という問いが苦手で、コロナがあってもできる事を探さなければなりません。その為の便利な道具や、それを実行に移す力も、私たちは神様から頂いているはず」と。この言葉に勇気づけられるとともに、自分に与えられたものを生かす責任があることを再確認させられたように感じました。

※2面に続く
森山司教の講演 (手前は山頭原太郎神父)

時の話題

ミャンマーのクリスマス

ミャンマーではクリスマスのお祝いは12月1日に始まります。1日から23日まで、クリスマスキャロルを歌う日々です。私の村では、神父やカテキスタそして若者のリーダーに導かれて、若者たちが毎晩3〜4日かけて村の家々を訪ねて歌い祈ります。カトリック、プロテスタント、仏教徒など、すべての家庭を訪ねます。各家庭では訪問者に感謝して、

お金や果物、鶏肉、野菜などを寄付してくれます。クリスマス当日は、若者や子どもと親も一緒に、司祭とともに教会の周りで過ごします。夜になると、若者を中心にダンスや歌、プレゼント交換などが行われます。24日と25日は、夜も昼も教会司祭と一緒に教会で過ごすため、救い主イエス・キリストの誕生を祝うための信仰心が一つに結ばれ、より意味深いクリスマスになります。

去る11月8日、皆既月食があり、全国的に晴天に恵まれ、多くの方がご覧になったようだ。特にこの皆既月食中に天王星という土星の外側にある太陽系の惑星が月に隠れるという珍しい現象が同時に観察され、注目された天文現象だった▼天文現象と言え、降誕祭のストーリーの中で、今ではもうあまり不思議に思わなくなりましたが、博士らが最初に見つけた不思議な星「ベツレヘムの星」はどのような天文現象だったのだろうか。この星に関するいろいろな説があるが、最も有力とされているのが「木星・土星会合説」。会合とは、二つの惑星が接近することで、惑星の運動法則を提唱したヨハネス・ケプラーによると、紀元前7年頃にお座付近で木星と土星の会合が起こっていることがわかっている。いざれにしても珍しい現象だったようだ。月と天王星ではあまりに大きさが違いすぎるが、太陽系の中でもずば抜けて大きくて明るい木星と土星の会合、もしこれらいつか起こるとすれば見てみたいものである▼星空を眺めて思うことは、途方もなく広く、無限に広がる宇宙をこの人類のために用意された神の思いがどこにあるか、ということである。その宇宙の中であまりにも小さい地球に人類を誕生させた神の思い。それなのに人類は神の思いに逆らって争いを繰り返している。ウクライナとロシア、解決の光はまだ見えない。まぶねのイエスを今年もまた迎える。ちっぽけな人類をこんなにも愛される神に感謝しながら、一日も早く本當の平和が訪れるよう祈りたい。(A)

2022 神学院祭

「コレジオファミリーデーも同時開催！」

福岡カトリック神学院（福岡市城南区松山）で、3年ぶりに対面で開催された「2022神学院祭」は、飲食の販売は見送られたが、ミサや講演会、神学生と交わる企画などの他、今春より神学院敷地内に移った福岡コレジオの「コレジオファミリーデー」も同時開催された。

新型コロナウイルス感染症の為、昨年、一昨年はオンラインで趣向を凝らして開催したが、今年は遠方からはマイクロバスをチャーターしての来院や、長崎大司教区からは小神学校の学生など多くの司祭・信徒が集結し、笑顔と賑やかな声で満たされたいつもの風景を取り戻していた。



700名近くが集い、ともに捧げたミサ

同時開催 コレジオファミリーデー

はじめに、「福岡コレジオとはどんなところ？」との疑問に答えるために簡単に説明させて頂いた。正式名称は「カトリック長崎教区司祭志願院 福岡コレジオ」で、司祭養成を担う機関です。九州内で司祭を志す人が共同生活をし、福岡カトリック神学院に入る前の準備段階を過ごす場所になります。福岡コレジオは今年度、福岡市中央区浄水通から福岡カトリック神学院敷地内に移転しました。現在の在籍者は5人で全員が学生です。あと5部屋あります。学生はもちろん、社会人経験者や司祭を志す青年の入学を待ちしています。司祭を目指す気持ちのある方、ぜひ、主任司祭にご相談ください。続いて、ファミリーデー開催のご報告です。本年度より



神学院内を巡るクイズラリー中のご家族

院祭に来院された方向けに、福岡コレジオの紹介動画、今年度の活動写真展などを行いました。コレジオ生のご家族

アジアのすべての人々とともに FABCC（アジア司教協議会連盟）

10月12日から30日までバンコクに行ってきました。FABC（FEDERATION OF ASIATIC BISHOPS CONFERENCE・アジア司教協議会連盟）の総会に参加するためです。カトリック教会には各大陸にこう

いう組織があります。アジアの場合は、フィリピンのマニラへ教皇パウロ六世を迎えた1970年に、アジアの司教たちがアジアにより深く根差した教会を求めてFABCを創設しました。その時からFABCは、アジアの教会の歩みを方向付ける大切な組織になっていきます。4年ごとに総会を開き、各国の主な課題と教会の現状を分かち合い、全世界の教会と強いつながりを保ちながらアジアの教会のあり方を探ってきたのです。

今回の総会は、2年前に行われるはずでしたが、新型コロナウイルスのため延期になってしまいました。今回はFABC創立の50周年を祝うことも含まれていました。参加者は、司教120名、司祭37名、修道女8名、信徒41名、全体で226名でした。

最初の週は各国の報告を聞くことができた。特に心に残っているのは、迫害に遭っている教会のことです。教会は福音に導かれ、人々と共に、人権や信教の自由を含めた本来的自由、社会正義、そして平和を求めています。しかし、様々な形で迫害に遭っています。また、中央アジアの小さな教会の現状も知ることができました。初代教会の話を聞いていたような気がしました。修道生活や司祭

はじめ、当日訪れてくださった皆様に感謝いたします。報告は福岡コレジオ副院長 稲田伸也神父（長崎大司教区）

職への召し出しの多い教会があれば、だんだん少なくなっていく教会もあります。多様に満ちたアジアの教会は、キリストにおいて一つであることを強く感じました。

二週目は、各国の報告に基づき、様々な分野の専門家の助けを得てアジアの現状を分析しながら、フランシスコ教皇が求めておられる「出向いていく教会」をその中でどう築いていくかを考えました。

最終週は、これからのアジアの教会の歩みの特徴を明確にしました。その中で、アジアのすべての人びとと共に歩みながら、福音的価値観を生きて、イエスに出会う素晴らしさを伝えていく決意を再確認

朝教会全国連合第60回大会が11月11日（金）〜12日（土）にカトリック手取教会で開催され全国から約70人が集まりました。大会主題は「希望に輝く」。開会礼拝でアレックス・ド・トウルゴ神父（島崎教会）が「イエスと呼ばれて、選ばれて、派遣されている私たち」について「朝教会は第二バチカン公会議よりも早く1957年に大阪で始まった。イエスは祈るために山に行き夜を明け、朝になると12人を使徒に選定。使徒とはイエスと共にいて福音を告げるために遣わされる者。弟子たちの集まりが初めての朝教会だったかもしれない」と説教された。

午後からヨゼフ・アペイヤ司教が「福音に生きる。福音を伝える」をテーマに「洗礼者ヨハネのもとに集まる人々

第60回「朝教会全国大会・熊本」が開かれる



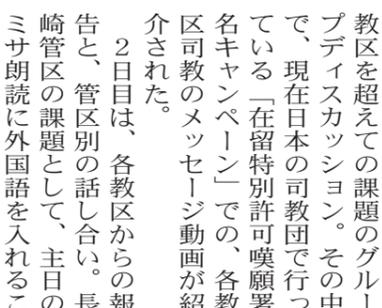
会議中の日本の司教団（右：アペイヤ司教）

しました。すでに発表された総会メッセージや、これからまとめられる総会の文書を通してそれが表明されました。

アジアの教会を遠く存在として感じる人々は少なくないと思います。私たちの教会なのです。アジアでは、カトリック教会は、東チモール（92%）やフィリピン（85%）を除いて、少数派になっていきますが確かに大きな光を灯しています。神に感謝せずにはいられません。

ヨゼフ・アペイヤ司教

は都市の社会条件、宗教的状况に不満をもっていた。ヨハネは神の契約から離れた民をもう一度取り戻そうと回心を呼びかけた。：イエスのなさり方は、見る・共感・行動することによって人々の生活を確信する。イエスのように生きる。信仰を持ってよかつたと思うからこそ伝えることが



手取教会聖堂前で記念撮影

できる。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」と話された。

その後、大会関係議事、二日目は早天祈禱会、内村公春（九州ルーテル学院長）氏による講演や礼拝があった。

「熊本開催は14年振り。教会の仲間もオルガン演奏、聖歌隊などに協力。教派を超えて共に祈ることができ素晴らしいことがあった」（手取教会・榊山ケイ子）との感想があった。

報告は手取教会 小野豊和

教派を超え共に祈る

朝教会全国連合・副会長 健軍教区 歌野清二

全世界に類を見ない、教派を超えたキリスト教の祈りの運動を続けている朝教会全国連合（河村賢吾会長）。60回目となる今回は「ダイヤモンド祝」にあたる記念大会であった。

初日の開会礼拝では、トゥ

難民移住移動者委員会 ネットワーク合同会議

10月4日（火）〜5日（水）、カトリック中央協議会（東京都江東区潮見）で「難民移住移動者委員会 全国担当者・ネットワーク合同会議」が開催された。3年ぶりの対面会議で、北海道から沖縄まで各教区の委員と実務担当者約50名が参加し、司教協議会で担当司教に就任した森山信三司教（大分教区）も臨席した。

1日目は、難民移住移動者委員会の活動報告と、各現場教区を超えての課題のグループディスカッション。その中で、現在日本の司教団で行っている「在留特別許可嘆願署名キャンペーン」での、各教区司教のメッセージ動画が紹介された。

2日目は、各教区からの報告と、管区別の話し合い。長崎管区の課題として、主日のミサ朗読に外国語を入れるこ

ルコ神父のテゼの賛美、続唱が心に響き、ヨゼフ・アペイヤ司教の講演から、信徒の召命とその使命について導きをいただいた。二日目は「熊本バンドが残したものと題して内村公春師から熊本バンドの信仰について話があり、早天祈禱では富山信師の「信じる者になれ」の説教に続き5人の代表祈禱が捧げられた。

閉会礼拝では、中出牧人師から「いつものように、さあ行こう」と励ましの説教があり、最後に全員が輪になって手を組み、「神とともにいまして」の賛美歌を合唱して幕を閉じた。

河村会長は「コロナ禍を乗り越え、超教派による朝教会の働きが神の栄光を現わすため更に前進できることを願っています。これからの信仰生活に大変役立つ意義ある講演、説教が多く、勇気とエネルギーをいただきました。感謝です」と喜びを語った。

訃報

Bozena Lech 氏

ルーカス・レック神父（大名町教会・助任、米国ブルックリン教区）のご母堂が11月12日にポーランド・チェンストホバで帰天。享年60。永遠の安息をお祈りください。



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリードホーム

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリード

☎ 0120-45-1616

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUEEN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会⑧

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会から
司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれの
カリスマで働いておられます。
今春より紹介している、その修道会や宣教会。
第8回は、聖アウグスチノ修道会です。

聖アウグスチノ修道会

「聖アウグスチノ修道会」と言えば、殆どの方から、「古い修道会です
ね」という反応が返ってきます。聖アウグスチノは、4世紀から5
世紀にかけて生きた聖人ですが、修道会の発足そのものは、13世紀
の半ばで、それほど古くはありません。発足のきっかけとなったのは、
時の教皇の呼びかけです。当時、聖アウグスチノの会則に従って生活
していた隠遁者達の共同体が、独立した形で各地に点在していました。
その隠遁者達に、時の教皇が、一つになり、修道会となるように呼び
かけられました。それが会の起源となっています。

会の霊性は、共同生活と「もてなし」です。共同生活は、多くの修
道会が採用している生活様式ですが、私達の場合、特に使徒言行録の
中の初代教会のように(2章44～47節)、共同生活を通して宣教する
事を自らのカリスマと考えています。会則の第1章に、次のように記
されています。「修道院に住むあなた方に、次の事柄を守るよう命
じます。まずあなた方が共に寄り集う主な目的は、神にあって心も思
いも一つにして、家で睦まじく生きる事です」。

仲睦まじく生きる教会家族に
囲まれて(中央・遠山神父)



もう一つのカリスマは、中世期、
サンティアゴ・デ・コンポステラ
沿いの巡礼道で露わになりました。
巡礼道沿いにある巡礼宿は、以前、
巡礼者の為の救護所のようなもので
した。そのような場所で、私たち
の会は、自分たちのカリスマを発
揮しました。

日本における宣教は、キリシタン
時代からです。迫害下にあった当
時の日本で、多くのアウグスチノ
会士が、他の宣教者と共に、困
難に直面しながら、福音を伝え
続けました。その中には、山奥
に隠れながら宣教を続け、最後
に西坂で穴吊りの刑によって殉
教した、金鍔神父などがいま
います。

現在、日本においては、長崎と福岡、名古屋、東京で共同生活を
送りながら、使徒職に従事しています。それぞれの地で、司牧の形態
こそ少しずつ異なりますが、いずれの地にあっても、私たちの共同生
活を通して、神の栄光が現れるよう努めています。

聖アウグスチノ修道会 遠山満神父(笹丘教会主任)



慈恵病院 赤ちゃんポスト・このとりのゆりかご

病院横の小道を歩くと、途
中にあるおとぎ話に登場す
るような水色とピンク色
の扉に到着する。扉の上の
板には鳥や赤ちゃんの絵が
あり「このとりのゆりかご」と
記されている。しかし、門を
くぐってもすぐには「ゆりか
ご」が見えない。長さ約30メ
ートルの蛇行する小道がある。
「あえて長い距離をとって
います、お母さんが最後に悩
む場所として」と、同病院の
新生児相談室長を務める蓮田
真琴さんが説明した。

運開始の2007年5
月10日から遡ること数年前、
当時の理事長であった故蓮田
太二医師は「赤ちゃんポスト」
の先進国であるドイツを視察
した。その後、熊本で赤ちゃ
ん遺棄事件が起こった時、い
のちを守る必要性を強く感
じ、法的問題の懸念はあった
が「このとりのゆりかご」
開設に踏み切ったという。

まず、外の扉を開けると、
中に別の扉がある。ここに「お
父さんへ、お母さんへ」と書
かれた手紙が、扉に備え付け
た仕掛けに挟まれている。こ
れを取り除かないと中の扉が
開かない。手紙を読んで中の
扉を横に押すと、病院用の新
生児ベッドが目の前に。蓮田
真琴さんは「そのままじつと
立ち尽くすお母さんが少なく
ない」と話した。その時のお

親が育てられない子どもを匿名で預かる熊本市の医療
法人「聖粒会」慈恵病院(蓮田健病院長、98床)「この
とりのゆりかご」が運用を開始して今年で15周年を迎
えた。これまで様々な難局を切り抜けてきた中で少なく
とも159人(2020年現)の命が救われたものの、
いまだに賛否が分かれる。
前編では、「このとりのゆりかご」の現状や経緯な
どを聞いた。

「このとりのゆりかご」
開設からの15周年を振り返る
前編

小道の終わりまでたどり着
いたかと思いきや、最後の
U字型のカーブへ進まない
と「ゆりかご」が見えてこ
ない。「ゆりかご」はピンク色
の四角い扉で、門と同じ絵が
描いてある。その左右にいく
つかの看板が目にとまる。「ま
ずはご相談ください」や「秘
密を守ります」のほか、同病
院相談窓口の電話番号などが
表示されている。小道の長さ
や看板の言葉などから受ける
印象は、「それでも、もう一
度考え直しましょう」という
病院からのメッセージであ
る。



この手紙を手に取ると、
次の扉を開くことができる

院本館のリネン庫を改造して
始めたが、マリア館の新築に
伴い移動した。そして経験
を重ねる中で、赤ちゃんを中
に迎え入れるためにいくつ
かの操作段階が必要と思
い、現在のものになった。

母さんのつらさが想像を超え
るものだと伝わってくる。
「このとりのゆりかご」
が開始される前から、同病
院は熊本市などの行政機関と協
力しながらいろいろな問題を
乗り越えた。まずは、病院内
すべての部屋の「目的」を登
録する必要があり、「ゆりか
ご」のような目的に前例がな
かったという。



記念ミサの様子

蓮田院長は「匿名で赤ちゃ
んを預かることは、不法では
ないが、非合法ではあった
というのが大きなきハードル
だった」と話す。
また、多くのお母さんが家
族に妊娠のことを知られた
くないため、自宅やホテルで
出産するという。そのため、
母子手帳などでの妊娠や赤
ちゃん

ちゃん存在の記録は全くな
く、匿名で「ゆりかご」に預
ける。命名をだれが行うか、
だれの戸籍に入るかという課
題。赤ちゃんが社会の一員
として人生を出発できるよう
に熊本市長が「名付け親」と
なり、同市当局が赤ちゃんの
みの戸籍を作成するという。
蓮田院長は、「キリスト教
は人の罪を赦し、人を助ける
宗教。(困難を乗り越えるた
めに)イエスの教えに助け
られた」と振り返る。
(次号後編では、蓮田院長に
話を伺う)

大牟田 明光学園中学・高等学校
創立70周年記念感謝ミサ

11月5日(土)、ヨゼフ・
アペイヨ司教様と大牟田教会
主任・田中重治神父様との共
同司式による創立70周年記念
感謝ミサが厳かに捧げられ
ました。コロナ感染拡大防止
のため参列者の人数は制限さ
れましたが、学園の中学生と高
校生や教職員、学園にゆかり
の深い方々約400人がカ
ノッサホールに一堂に会し、
歌ミサにはできませんでしたが、
入祭の歌を皆で歌うこと
ができ、気持ちを一つにして
ミサに与りました。

司教様は、70余年前に宣教
のため派遣された4人のシス
ターが学園創立に携われたこ
とや、当時の福岡教区の故深
堀仙右衛門司教様のお話を
され、創立当初のご苦労とこ
の学園の存在意義について改
めて考える機会をいただきました。
また、70年の長きにわ
たり学園の発展に寄与され
た、シスター方をはじめとし
る教職員の諸先輩方や卒業生
の皆さまへの感謝と、今後も
引き続きカトリック教育を続
け、「地の塩・世の光として

ミサの終わりに、フランシ
スコ教皇様が学園に贈ってく
だされた「使徒的祝福」を司
教様からいただき、明光学園
校歌を合唱して閉祭しまし
た。その後、「SDGs時代
における女子教育の大切さ」と
題して田瀬和夫(国連フォー
ラム)代表幹事・共同代表
氏の記念講演が行われ、司教
様も一緒に聞かれました。
シスター方をはじめ参列さ
れた方々から、「本当にいい
御ミサでした」、「良い時間を
過ごすことができました」と

お声かけいただきました。
報告 明光学園中学・高等
学校 校長 諸田浩美
聖フランシスコ
帰天祭
10月4日(火)はアシジの
聖フランシスコの記念日だ
が、その前日は、天の御父の
もとに帰天された日である。
その日、高宮教会ではそれ
を記念して「晩の祈り」(教会
の祈り)を唱え、聖フランシ
スコの遺言の朗読・聖遺物の
崇敬など、聖フランシスコを
偲ぶ祈りのときを過ごした。
報告 高宮教会 菊池いつ子

2020年から2021年
にかけて行われた、「カトリッ
ク教会のカテキズム」に沿っ
た祈りについての連続講話。
旧約の父祖の祈り、御父と
の対話であるイエスの祈り、
従順にすべてを受け入れる聖
母マリアの祈りなどから学
ぶとともに、教会の伝統的な
祈りの形式の真価を説く。
カトリック中央協議会発行
税込価格990円

☆キリスト者の祈りー教皇講
話集
教皇フランシスコ(著)
キリスト者の祈り
教皇フランシスコ
BOOK
読み専科

広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話 : 092-522-4059
メール : cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金
(目安)をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合
もございます。あらかじめご理解とご了承
のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい
方、精神障害の方など、病気について、介護
方法について専門的指導や援助が必要な方は
ご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

サンパウロ
福岡宣教センター
営業時間:
10:00~18:00(日曜日~16:00)
定休日:火曜日、祝祭日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

年間目標 キリストの愛に駆り立てられて 人々と共に歩む教会

福岡地区青年有志主催 miniFYCC 開催

日時：12月11日(日) 受付13:40～ 開始14:00 解散17:00
場所：カトリック大名町教会
対象：福岡教区内の中学・高校生、青年、司祭修道者
参加費：無料
申込締切：12月4日(日)
※詳細・申込は右記QRコードよりご確認ください。



一みことばのお弁当

今年度テーマ「福音の女性たちと共に」

日時：12月22日(木) 10時～13時
内容：マグダラのマリア
同伴者：レナト・フィリピーニ神父
(宣教・養成委員会 信徒養成担当)
場所：大濠カトリック会館
電話：080・9101・8717 (申し込み不要)



一お詫びと訂正

教区報11月号に下記の誤植がありました。
4面 お知らせ

【ウクライナ報告】

×講師：木村光一(日本バプテスト連盟)
○講師：木村公一(日本バプテスト連盟)

【聖体といやしの家】

×Tel 804・735・6971
○Tel 080・4735・6971

3面 読みま専科

【主日の福音を生きる(A年)】

×水を運ぶ七人の信徒(著)
○水がめを運ぶ七人の信徒(著)
関係者の皆さまには深くお詫び申し上げます。



福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

福岡教区を共に祈る会
(日時) 12月20日(火) 13時
30分 召命祈願ミサ(司式・中村彰神父 大名町教会主任)
(場所) 大名町教会・小聖堂
1階ロビー(問合せ先) 092・921・4532 山口
福岡チエナクルム(日時)

1500円位(昼食代)(問合せ先) 090・1262・6395 柴田
在セコ会
(日時) 12月10日(土) 10時
アシジのフランシスコについて
の学び・奉仕活動(場所)
高宮教会(問合せ先) 080・5266・9048 秦
震災のための祈りのリレー
(日時) 12月11日(日) ミサ9時/夕の祈り
17時半(場所) 大楠教会
(問合せ先) 070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
師イエス祈り会(日時) 12月16日(金) 10時ミサ後(場所)
高宮教会・小聖堂(問合せ先) 090・7468・3631 西田

熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 12月19日(月) 9時50分
(場所) 手取教会(問合せ先) 0969・79・0015
崎津教会主任・浦川務神父

編集後記

全国広報担当者会議に参加しました。各教区の取組みや悩みを共有し、繋がることのできたことは、今後の広報活動に大きな恵みとなりました。(W)

案内板 会合と催し

12月のこよみ

主の降誕 夜半のミサ YouTubeでライブ配信

日時：12月24日(土) 20時から
司式：ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区・教区長)
(5分前から配信開始)

<視聴方法>

*教区ホームページ(右記QRコード)

http://fukuoka.catholic.jp 参照

*YouTubeより「カトリック福岡司教区・主の降誕夜半ミサ」を検索。



真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：イエス様のように祈る

日時：12月8日(木) 10時～15時
内容：「イエスは天を仰いで言われた。父よ…」(ヨハネ17:1)

指導者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)

< 2023 年間テーマ：霊性への招き >

日時：2023年1月12日(木)

内容：「励まし、寄り添ってくださる諸聖人」

指導者：コデノッティ・クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先：真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻蛉1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 4日(日) 待降節第2主日 宣教地召命促進の日(献金) 戸畑教会司牧訪問
6日(火) 司教協議会総会(～7日)
7日(水) 聖アンブロジーノ司教教会博士
8日(木) 無原罪の聖マリア 教区顧問会
10日(土) J.メディナ(2019年 イエズス会福岡修道院)
11日(日) 待降節第3主日 若松教会司牧訪問 miniFYCC・大名町教会
12日(月) 福岡市民クリスマス(クリスマスメッセージ) M.コーフィールド(2001年 島崎教会)
14日(水) 聖ヨハネ(十字架の)司教教会博士 司祭生涯養成委員会・東京 J.モラハン(2002年 水俣教会)
15日(木) D.カレン(2003年 崎津教会)
17日(土) 本渡・崎津・大江教会司牧訪問(～18日)
18日(日) 待降節第4主日 大江教会・堅信式 J.ドゥーリ(2001年 島崎教会) L.メネガッツォ(2016年) V.スピリーリョ(2014)
23日(金) 主の降誕夜半のミサ 大名町教会ミサ司式
25日(日) 主の降誕日中のミサ 大名町教会ミサ司式
26日(月) 司教団・ラウダートシー委員会・東京
27日(火) 聖ヨハネ使徒福音記者
28日(水) 幼子殉教者
29日(木) M.マホニー(2014年 笹丘教会)
30日(金) 聖家族 D.マルケット(2020年 帯山教会)
31日(土) 大名町教会ミサ司式(神の母聖マリア前晩のミサ) [1月]
1日(日) 神の母聖マリア 大名町教会ミサ司式 世界平和の日 C.バステ(2002年 黒崎教会) A.ラプラント(2015年 福岡サン・スルピス大神学院)
■ゴチックは司教日程

コロナ感染予防のため、各教会の対応が異なります。また感染状況によっては急な変更もございます。詳細は各教会にお問合せください。

降誕祭・年末年始のミサ時間



Table with columns for church name, location, and mass times for Dec 24, 25, 31, and Jan 1. Includes regions like Fukuoka, Saiki, Kumamoto, and Kyushu.

※31日(土)の平日・前晩のミサは各教会にお問合せください。

内容詳細は問合わせ先にお尋ねください。感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

福岡

子どもを亡くした親の会
(日時) 12月3日(土) 11時
(場所) 雑魚屋*会費

12月21日(水) 10時(場所) 大楠教会(問合せ先) 090・5021・5907 菊池
カトリック大名町教会「キリストとの出会い」全15回(日時) 12月3日より毎週土曜14時/16時(場所) 大名町教会1階講堂(問合せ先) 092・741・3687 大名町教会

熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 12月19日(月) 9時50分
(場所) 手取教会(問合せ先) 0969・79・0015
崎津教会主任・浦川務神父

熊本

スープの会 2月から3月の2週目まで毎金曜日
【調理ボランティア】 14時～ 大名町教会1階厨房
【配布ボランティア】 20時集合 大名町教会1階講堂
【献品】 冬服・防寒着・毛布・靴・新品の下着、靴下
【問合せ】 深堀 080-1793-0481 飛永 080-4317-4152
※感染対策のため参加される方は事前にご連絡ください。

2023 スープの会
※ホームレス支援 献品を募集いたします
おからのスープの調理場で開催
おからのスープの調理場で開催
おからのスープの調理場で開催

私たちと一緒に おはなしませんか?
安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール：hanahanawari2020@gmail.com
☎：080-4735-6971 (9:00～21:00)
※対応できないときもあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記QRコード
一ぶろじゅくとHana
ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍しています。ひとりでも悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00